

事 務 連 絡

2018年6月20日

各地区協会会長 様  
(U12 部会長)

一般財団法人 北海道バスケットボール協会  
専務理事 森 野 和 泰  
U12 統括部長 小 林 勉  
(公印省略)

## U 1 2 / ミニバスコーチの指導マナーについて (通達)

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、予てより、公益財団法人日本バスケットボール協会（以下「JBA」と言います。）及び日本ミニバスケットボール連盟から、再三にわたり、「暴力・暴言・ハラスメントの根絶」などの注意喚起を行ってきたところであります。

U12と一口に言いますが、1年生から6年生の男女という幅広い世代を少人数で指導する中、練習や試合、更には、保護者との関わり方等、多くのコーチは信頼されるべきコーチングや運営に心がけていることと存じます。

**しかしながら、全国はもちろん、北海道内においても未だ問題情報が寄せられるという残念な状況が見受けられます。**

JBAのユース育成方針にもありますとおり、現在は「自ら考え行動するプレイヤーの育成」を重要視しており、「コーチの考え、要求のとおりにならない＝叱責」とならないよう、コーチも進化しなければなりません。

「ボランティア」という言葉を盾に、過去の経験のみで指導することなく、トライ&エラーを容認し、教育的配慮、発達段階に応じた範囲での規律を心がけ、プレイヤーの自己表現を妨げないことを望みます。

限りない可能性を持つゴールデンエイジを日々指導する皆様にとって、今さらながらの通達ではありますが、一部の理解不足のコーチのために、今までの積み上げられた信頼が崩れ落ちてしまうことも有り得ることから、改めての通達といたしました。

**北海道から「暴力・暴言・ハラスメント」が無くなることを願い、各地区におかれましては、所属する全チームの保護者代表及び指導者に行き渡るようお願いいたします。**